

県立博物館見学シート

1 和歌山県立博物館について

①県立博物館の仕事（どんな仕事をしているの？）

和歌山県ゆかりの文化財を、

- (1)集める（買う・もらう・あずかる）
- (2)守る（虫やカビがつかないように、温度や湿度^{しつど}を調整、光に注意）
- (3)調べる（いつごろ・だれが・どこで・材料・大きさ・何のために）
- (4)展示する（常設展^{じょうせつてん}・特別展^{とくべつてん}・企画展^{きかくてん}）
- (5)教え広める（講演会^{こうえんかい}・ミュージアムトーク・職場体験学習^{しょくばたいけんがくしゅう}など）

②館内見学（ふだん入れない場所に、ご案内します）

(1)空調機械室^{くうちょうきかいしつ}

温度・湿度を調節し、それぞれの部屋に空気を送りこむ機械があります。

(2)展示準備室^{てんじじゆんびしつ}

展示のためにつかう道具・台などがおかれています。準備作業もします。

(3)くん蒸室^{じようしつ}

外から持ち込まれた文化財に付いている虫やカビを毒ガスで殺します。

(4)写場^{しゃじょう}（スタジオ）

文化財の写真を撮る場所です。わずかな時間、強い光を当てます(ストロボ)。

(5)収蔵庫^{しゅうぞうこ}

文化財を大切に守るための、特別な倉庫です。

温度は20～22℃、湿度は60%が基本です。

(6)搬入室^{はんにゅうしつ}・荷解室^{にときしつ}

文化財を運び入れる場所です。車の向きを変えるターンテーブルがあります。

(7)警備員室^{けいびいんしつ}

館内の様子を映す監視カメラがあります。

(8)中央監視室^{ちゅうおうかんししつ}

空調機や電気・非常用設備がうまく動いているかをチェックします。

ノート（感想や質問を書いてください。）